

クラス

多度の自然を活かす

位置と 通学方法

自然遊びができる場所

静かで落ち着いた環境

多度の自然に見合った学校であること
面積を十分に確保
小と中の日課の違いに合わせると小学校だけ統合でよい(15年前の答申尊重)

予算もはっきりせず候補地を市民に議論させるのか…

スクールバスではないといけ
ない場所が避難施設になりますか？

多度町内の広さを考え通学面の配慮がある(スクールバスは2台では不足)⇒時間のロスが子どものイライラやトラブルにつながる

スクールバス中学生はなしですか？(アイリスの場合)

防災拠点としての学校

まちの中心部みぞのは論外！市として提案するのは無責任！

地球環境に配慮した学校施設
多機能は必要がない

新しい学校は生徒だけ使わなくなった場所を地域の人が使用

例えば放課後児童クラブ

学校あいたところに

藤原小学校・中学校は47,000㎡
→これ以上の広い土地
防災
安全・安心

安心で安全な広い場所

ゆい保育所の東方の丘陵地
2万㎡がとれる
災害予定が見込まれない

安全面の確保むずかしい。

要望

市長・教育長へ公約をとりやめる
勇気 きっと好感度があがる
教委・町づくりががんばって下さい

中学校そのまま
中小増築(南庭へ) 青葉増築(東へ) 中1校、小2校の学校再編を希望

自治会の賛同は難しいと思うが…
長島町1.6万で小3校 多度1.2万で小2校 木曾岬町小1校

現在の複式学級の対策をまず…
市担先生を配置できないか

行政(財政)から小中一貫校と小中1校ずつは経費が安上がりになる。
木曾岬町も勤務したが、少人数でも2校あった方がよいと感じていた。

素晴らしいものであれば、教育長が出てきて話をして下さい。なぜ、来ないのかしら？

学校機能だけで安心安全である

安心安全が保障されること
池田小のような被害が多機能化によりリスクが上がる。「誰が」来校しているのか明らかな整備が前提

今の面積で話が進むのはおかしい

小学校の再編・統合に必要な広さ
多度なら最低2万㎡

水害・土砂災害に強い所
子どもと避難所の安全性

仮定なので…マイクロバスの資金、算用方は？
みぞのアイリスで1年で9千万なら50年で50億かかる

敷地面積3万~4万㎡の確保は可能か…

小学校は一校にするのは何とかあると思いますが、中学校まで一緒にというのがちょっと無理があると思います

構想は理解を得ていない

市の構想は無理を詰め込んだ内容

小学校の統合は今までうまくできなかった。それをやったら皆がさすが市長と言おうと思う

用地補償費・買収費の予算が不明で議論させるとは…

用地もないのにこんな構想はムリ

地域の理解は得られていないと思う
(事業をつづけるとは…)
トップダウンの施策で市民(町民)の意見を聴く…とは 民主主義に反すると思う。

焦って結論を出す(一体校建設)のではなく、今の悩みに合わせた熟議が必要(15年前は小の統合のため1年半かけている)

十分な広さが必要

小学校の再編統合

同じ屋根の下に小中は一緒にしてはダメ

小学校と中学校は別建物の方が子ども達の関係がリセットされて「中学校生活が楽しい」という子どもが多いです。

小学校の再編統合を→小中一貫校はいらない

ワークショップへの提案
多度地区小中一貫校再編統合事業のワークショップにあたって、送付された資料を読みまし、子育て・学校・地域の関係者から、この事業への提案をします。
・子どもの安全・安心を確保するうえで誰でも入りできる多機能施設とするのは危険であること
・小学校の再編・統合がもつとも実現可能性が高いこと(一例を提示します)
・地区市民センター周辺はすでに多機能複合化が完成しており、その機能を誘導すること
の三点が内容です。
多度地区市民 坂谷 俊夫

やっぱり、学校は安全第一！
・学校は安全をおろそかにしてはいけない場所である。誰でも出入り自由な性質の施設と混合することは危険を学校内に持ち込むことになる。昨今の学校を現場とする様々な事件発生が報道されている。
・5月28日には川崎市内で登校途上の児童たちが殺傷された。三重県では昨年508件の不審者遭遇情報があった。皇室の子どもさえが標的になる時代、子どもの安全・安心は最優先！